

■ 施工前にご用意いただくもの

			
S型治具	土手代替芯材	安震V3・安震α	専用接着剤 安震アイバ・ノズル
			
コーキングガン	ヘラ	ウエス・アセトンやI.P.A	

■ 施工手順

	手 順	ポイント
①	 <p>【必須】設備を上げて、設置個所・治具の掃除 (1)アセトン剤とウエス等にて、設置場所の汚れを取り除いてください。 (2)I・P・A(イソプロピルアルコール)とウエス等にて、治具の裏面と「安震α」接着面と設置場所の脱脂を行ってください。</p>	<p>ゴミ・塵・油分の無いように、必ず汚れを取り除いてください</p> <p>施工不良になる原因の一つです</p>
②	 <p>先に穴をあけてください</p> <p>「専用接着剤安震アイバ」の挿入口を先端の尖ったもので穴をあけ、ノズルを装着します。 その後、ノズルをニッパー等で斜めにカットします</p>	 <p>直径5mmほどの穴が最適です</p>
③	 <p>上記手順②で組み合わせたカートリッジをコーキングガンにセットします。 「安震V3」を1枚取り出し、フラットな面のリングの中心にアイバを付けます。 治具側になります</p>	<p>「安震V3」に付けるアイバの量は、豆粒大の大きさが十分です</p>
④	 <p>③でアイバを付けた面のゲルを治具側にして専用治具に貼りつけます。 その後、「安震V3」に土手代替芯材を装着します 中心が凹面になっている方が設置面です</p>	 <p>治具裏面には、「安震V3」を貼る罫書き線があります</p>

	手 順	ポイント
⑤	 <p>「安震V3」の床面側にアイバを薄く塗布します</p>	<p>「安震V3」の床面側にアイバを塗る メリット…… 「安震V3」に塗布したアイバが、潤滑油の役割をし、設置時に位置の微調整が可能になる デメリット…… 後日、レイアウトを変更したい場合、「安震V3」が床面に残ってしまうので、「安震V3」の再利用が出来ない</p>
⑥	 <p>もし、設置時、後ろから安震アイバが設備に隠れ、注入出来ない場合 水色の点線部分は、設置後、アイバを注入することは困難です その場合、手順⑦・⑧を行ってください</p>	<p>「安震V3」の床面側にアイバを塗らないと？ メリット…… 施工後、目地のアイバにカッターで切込みをいれるだけで治具が取れるので、「安震V3」の再利用が可能です デメリット…… 設置時に位置決め微調整が困難になります</p>
⑦	 <p>空洞に治具を固定させて隠れてしまう面に、事前に、安震アイバを先に塗布しておきます</p> <p>その際のアイバの高さは11～15mm程</p>	 <p>アイバの量が少ないと、施工不良の原因となります。</p>
⑧	 <p>位置を決めます</p>	
⑨	 <p>アイバを注入します。押し戻しがあるまで、しっかり入れてください。</p>	<p>アイバを入れる量が少ないと、施工不良になる恐れがあります</p>
⑩	 <p>ヘラでアイバを押し込むように、表面を均します</p>	
⑪	 <p>既存の脚の径を確認いたします。</p>	

	手 順	ポイント
⑫	 <p>高減衰ゴムが三角均等に設置されているか確認。</p>	
⑬	 <p>既存の脚の径の大きさに合わせ、S型治具に安震アイバを塗布します。</p> <p>その際のアイバの高さは7～8mm程</p>	
⑭	 <p>設備を設置します。（下ろします）</p>	<p>先に設備を下ろし、あとから設備と治具の間に「安震アイバを注入してもOK！</p>
⑮	 <p>仕上げ はみ出したアイバをへらなどで押しながらから均一にします。</p>	
⑯		<p>機械自体の振動が大きい場合 2日間（48時間）ほどの養生期間をお願いいたします</p> <p>機械自体の振動が無い場合 5～6時間の養生でお使いいただけます</p>